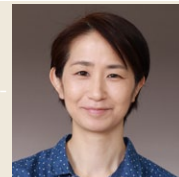


東京都

中央大学附属中学校・高等学校

窪田 ^{ふみ}史先生



高3

 アクティブ・リーディング Super

論理把握力だけでなく発信力も伸ばせる！

1・2年生の授業で世界の諸問題をテーマにしていたのですが、その延長として使用するのに英文のテーマが適していること、論理を把握しながら英文を読むことに焦点を当てた「論理把握チャート」が付いていること、発展学習としてさまざまな活動ができること、以上の3点から『アクティブ・リーディング』の採用を決めました。

授業では、テキスト解説（本文・単語の音声確認、本文の音読と解説）と発表の時間を設けており、テキストの設問は宿題として、後で解答を配布。発表の時間では、「企業のエコな活動」「絶滅危惧種」などテーマに基づいてペアでリサーチを行い、“Pecha Kucha”という手法に倣って、パワーポイントを使用し10枚の写真を10秒ずつ、制限時間2分で説明するプレゼンテーションを行います。さらに1学期の前半には、テスト形式で「サマリー・ライティング」も行いました。できれば、プレゼンテーションとテキスト本文のつながりを、英語の技能的な面で強化させたいです。この教材は春から使い始めたばかりです。今のところテーマのつながりだけで、学習した英語の技能が効果的に生かされているかを生徒が実感するのがまだ難しい状態ですが、今後、どう活用できるか、引き続き模索したいと思います。

① 最も指導に役立ったこと

世界の諸問題への関心を高めることができた

教材の使用方法について

○授業で使用

週に2回、リーディングIの授業で使用

テストの実施方法について

○1回の範囲、問題数

定期テストにおいて、3ユニット分から数問題程度出題

○問題の種類

本文内容把握問題、語句・文法問題（選択式・空欄補充など）



2016年9月現在